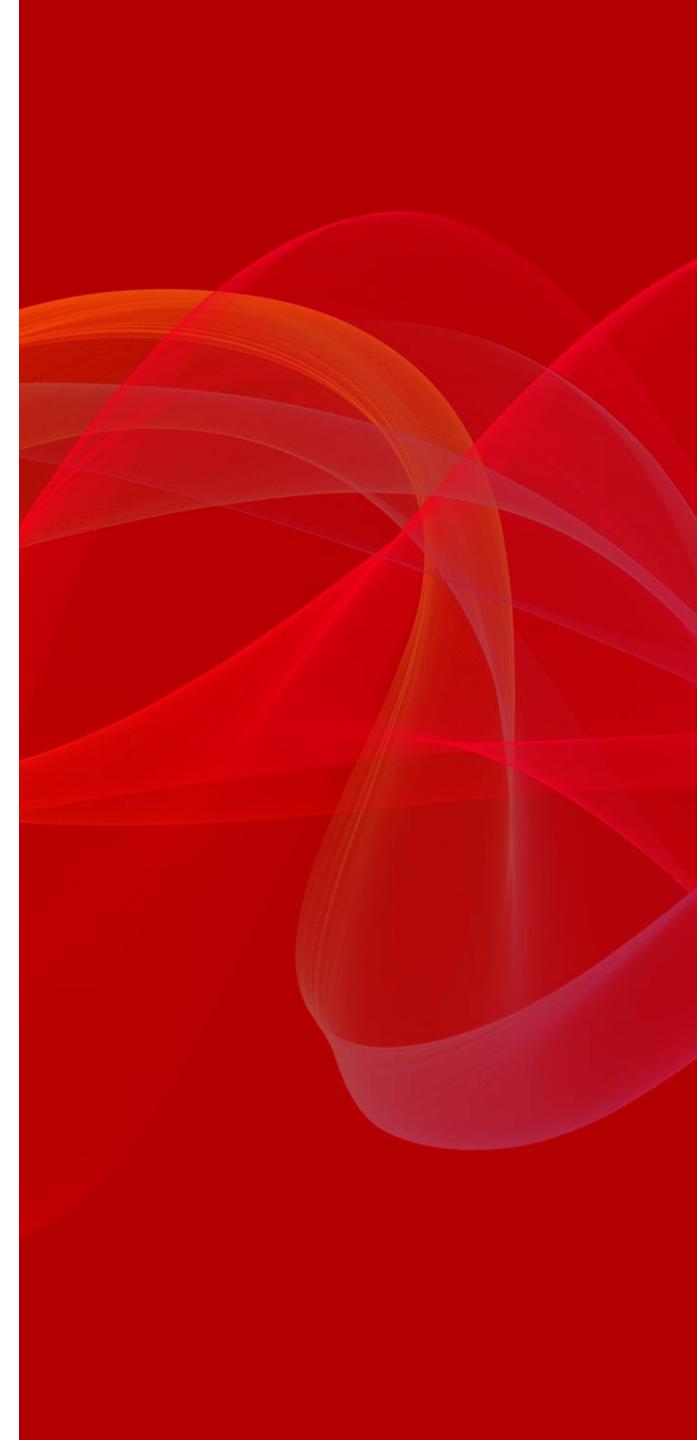




2026年3月期第2四半期(中間期) 決算説明会資料

2025年11月19日



目次

01 決算概要	P3
02 2026年3月期の見通し	P17
03 トピックス	P27



01 決算概要

02 2026年3月期の見通し

03 トピックス

2026年3月期第2四半期(中間期) 決算サマリー

新商品の販売が堅調に推移し、売上高は中間期過去最高を達成

- DAM新商品LIVE DAM WAO!の販売を中心に、各中核事業が増収となり、**売上高は前期比8.0%増(過去最高)**
- 新商品導入に係るコストやプロモーション費用等の販管費の増加により、利益面では減益

業務用カラオケ事業:商品販売が大きく増加、DAM稼働台数が堅調に増加し、前年同期比+1%

カラオケ・飲食店舗事業:既存店前年比 (カラオケルーム)+4%、(飲食)+1%

パーキング事業:期末施設数 4,200施設 48,000車室 と堅調に増加

- 本社移転に伴い、現本社ビルの売却益40億円を当期末に計上見込み
→ 当期末の配当予想を10円増配(記念配当)
- カラオケルーム(ビッグエコー)の好調などにより、中間期の売上高は予想をやや上振れるが、利益面では販管費の増加などの影響により予想をやや下振れる
→ 概ね計画水準の進捗であり、通期業績予想は据え置き

2026年3月期第2四半期(中間期) 業績ハイライト

(単位:百万円)	2025年/3月期 中間期	2026年/3月期 中間期			
	実績	実績	前期比(%)	業績予想	予想比(%)
売上高	74,321	80,276	8.0	79,600	0.8
売上総利益	26,349	27,685	5.1	-	-
販売費及び一般管理費	17,353	19,254	11.0	-	-
営業利益	8,996	8,430	△6.3	8,800	△4.2
経常利益	8,991	8,606	△4.3	9,200	△6.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,598	6,117	△36.3	6,800	△10.0

事業環境(業務用カラオケ)

事業環境

- 成長市場であるエルダー市場を中心として緩やかに改善が進み、当期末のDAM稼働台数は前年同期比1%増
- 5年半ぶりとなるフラッグシップの新商品「LIVE DAM WAO!」を4月に発売し、卸売を中心とした商品販売売上が増加
- 新商品に関連したプロモーションをテレビCM、SNS等多様なメディアで展開→カラオケ利用者のすそ野の拡大を図る
- 旧機種から新機種への入替え等を通じてDAM1台あたりの収入増加に努める

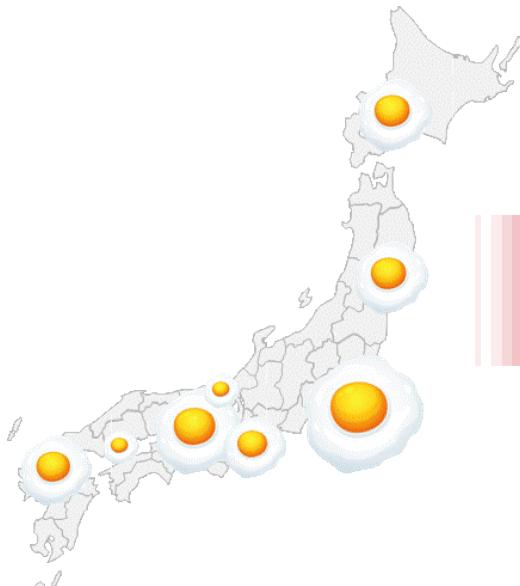
事業セグメント別のKPI



事業環境(業務用カラオケ)

フラッグシップ新商品**LIVE DAM WAO!**が外部への販売、自社店舗への導入共に好調なペース。
カラオケの新しい楽しみ方を訴求し、需要喚起につなげる。

LIVEDAM WAO!



『目玉焼きの黄身戦略』

全ての事業で各都市の中心地(駅前繁華街)立地を、確実に押さえにいく

業務用
カラオケ事業

カラオケ・
飲食店舗事業

施策

LIVE DAM WAO!を差別化商材として、各商圈の中心部へ経営資源を集中

KPI

- DAMのシェア向上
- 1台あたりの収益向上

2026年3月期
(中間期)

DAM
導入台数

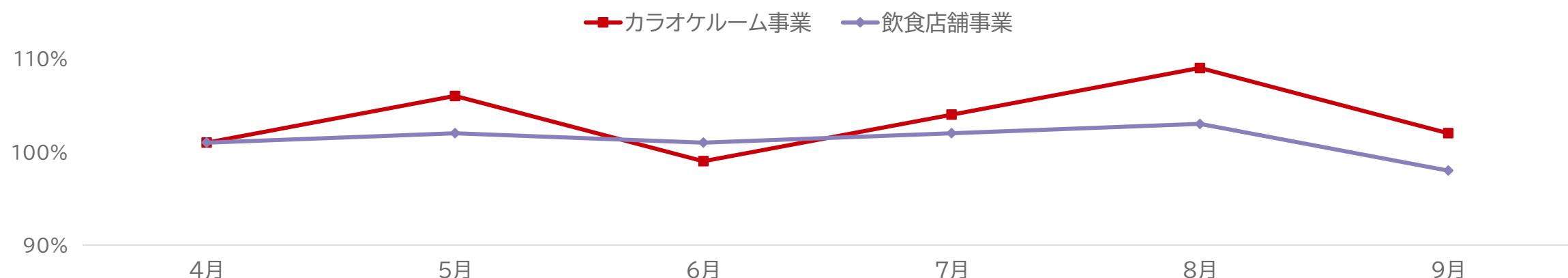
1.3
万台
(うち0.4万台は
自社店舗へ導入)

事業環境(カラオケ・飲食店舗事業)

事業環境

- ・前期実施した店舗リニューアル
- ・LIVE DAM WAO!導入効果
- ・猛暑によるインドアレジャー需要の増加 等により、集客が好調に推移

2026年3月期 カラオケ事業・飲食事業の既存店売上高推移(前年比)



店舗種別	2026/3期実績(前年比)					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
カラオケ店舗	101%	106%	99%	104%	109%	102%
飲食店舗	101%	102%	101%	102%	103%	98%

事業環境(カラオケ・飲食店舗事業)

店舗リニューアルの実施

店舗設備の美観を維持・向上を前期から積極的に実施



ハード面に関する主な取り組み

これまでの
一般的なマイク



ピンク・白のマイクで清潔感を強調



VoLTE TOKYO

カラオケが楽しめるバーカウンター。
ダーツやエアホッケーで盛り上がる
アミューズメントエリア。
「音・光・遊びの融合空間」をコンセプト
にした"大人の遊び場"。



KARAOKE&AMUSEMENT BAR
VoLTE TOKYO(ボルテ トーキョー)
<https://volte-tokyo.jp/>

板前ごはんと
言い酒
じぶんとま。

京風和食に洋の素材を組合せた和洋
折衷創作料理と、厳選した各地の焼酎
や日本酒を堪能できる和食ダイニング



事業環境(パーキング)

事業環境

- 新規パーキング施設が堅調に増加

パーキング事業の施設数の推移



認知拡大のためのCM映像

事業セグメント別のKPI

パーキング
施設数

2025年3月期

3,900 施設

2026年3月期中間期

4,200 施設

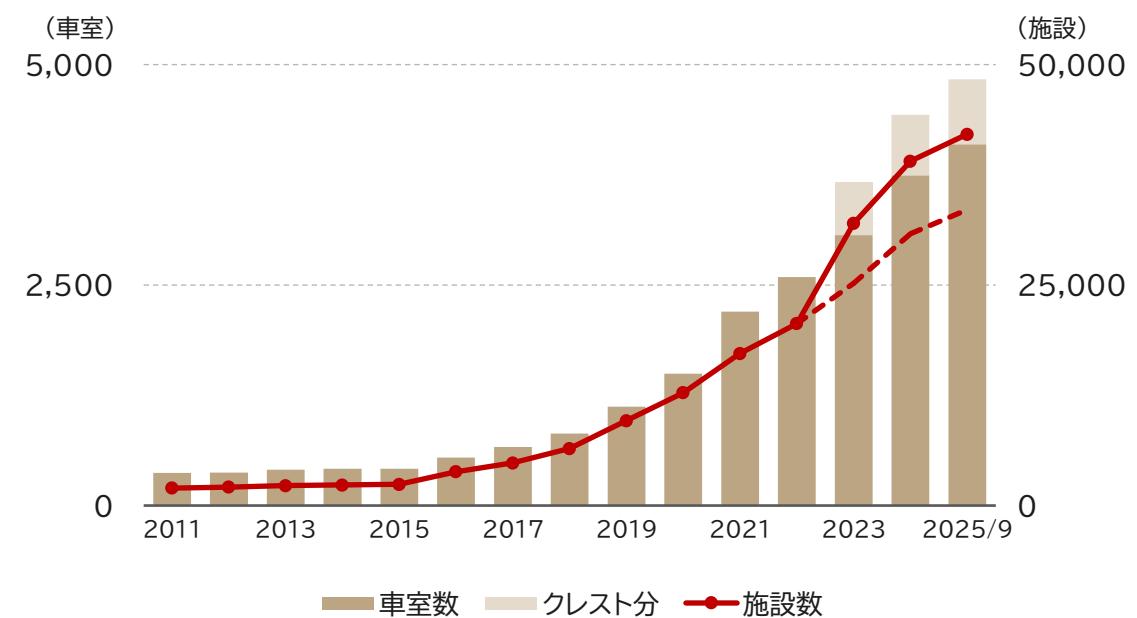
+7.8 %

パーキング
車室数

44,000 車室

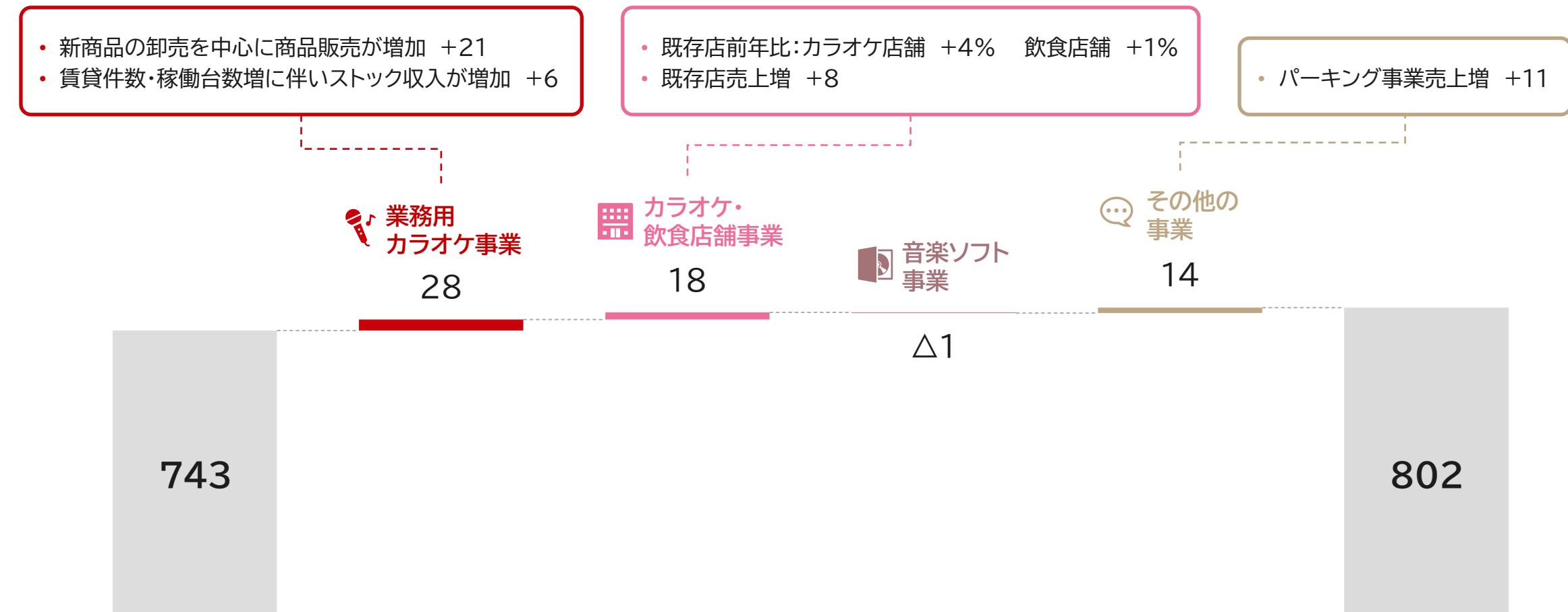
48,000 車室

+9.1 %



売上高増減要因分析

(億円)



2025年3月期
中間期 実績

2026年3月期
中間期 実績

四半期別売上高推移

(百万円)

50,000

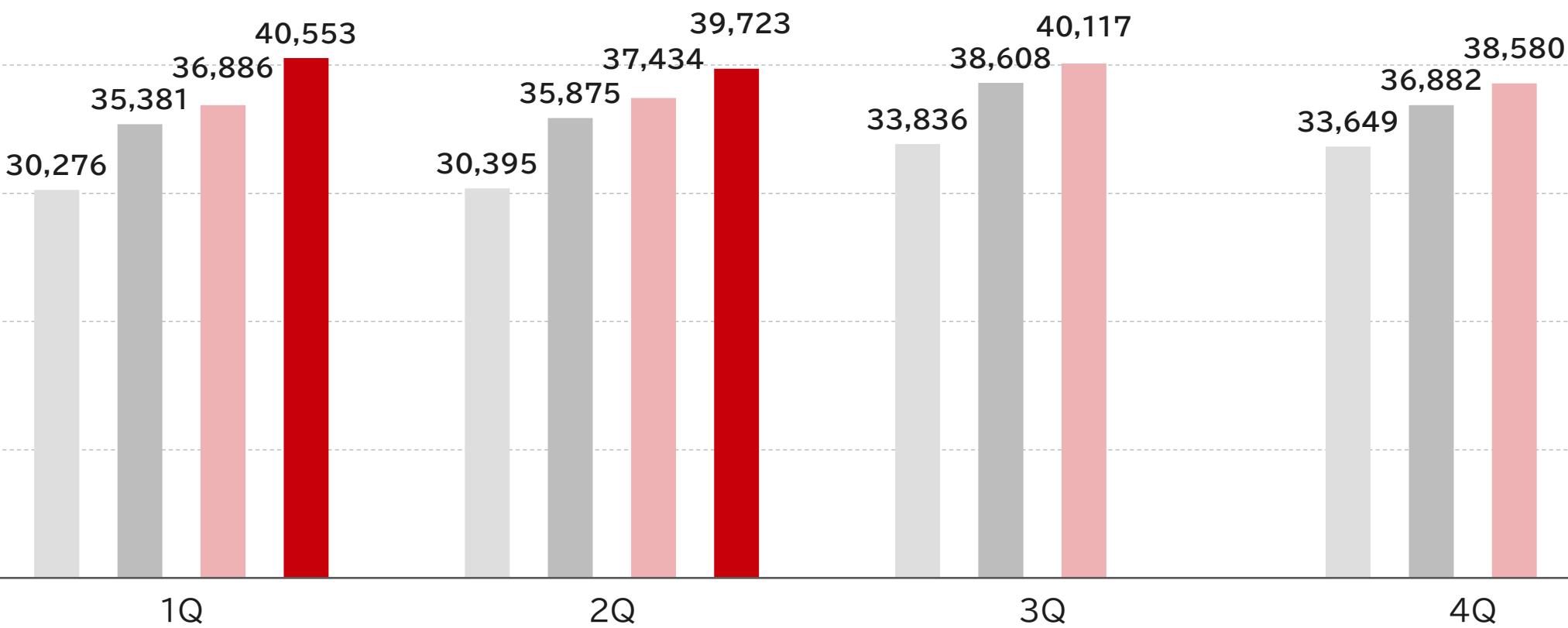
40,000

30,000

20,000

10,000

0



■ 2023/3期 ■ 2024/3期 ■ 2025/3期 ■ 2026/3期

営業利益増減要因分析

(億円)

2025年3月期
中間期 実績2026年3月期
中間期 実績

連結貸借対照表

DAM新商品の賃貸機器及び自社カラオケ店舗設備への投入、借入金の返済、配当金の支払い等により、
流動資産と流動負債が共に減少

(単位:百万円)	2025年3月期	2026年3月期 中間期	コメント	
	実績	実績		
流動資産	67,543	54,614	△19.1%	現預金の減少ならびに前払費用及び棚卸資産の増加
固定資産	141,773	147,008	3.7%	賃貸用カラオケ機器及びカラオケ・飲食店舗設備の増加
資産合計	209,316	201,623	△3.7%	
流動負債	35,990	26,411	△26.6%	短期借入金(一年内返済予定長期借入金)の減少
固定負債	55,463	56,109	1.2%	
負債合計	91,454	82,521	△9.8%	
株主資本	114,481	115,385	0.8%	
その他包括利益累計額	1,851	2,233	20.6%	
純資産合計	117,862	119,101	1.1%	
負債・純資産合計	209,316	201,623	△3.7%	

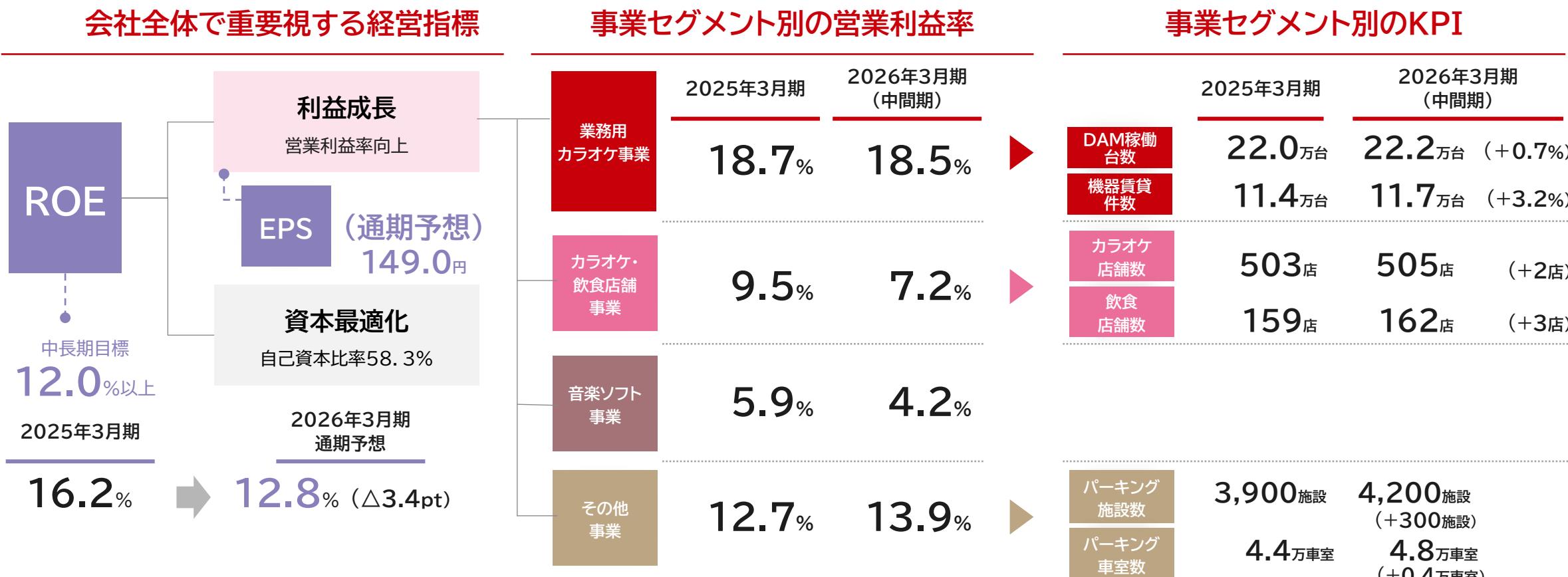
連結キャッシュ・フロー計算書

前期にあった固定資産(土地)の売却による収入が剥落したほか、カラオケ機器や店舗設備等の固定資産の取得の増加、借入金の返済による支出などにより、現預金が減少

(単位:百万円)	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前期比
	実績	実績	
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,006	11,798	+1,792
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,222	△13,617	△12,394
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,575	△13,383	3,191
現金及び現金同等物の期首残高	49,306	41,584	△7,721
現金及び現金同等物の期末残高	41,530	26,387	△15,142
フリー・キャッシュ・フロー	8,784	△1,818	△10,602

連結経営指標

業務用カラオケ事業及びカラオケ・飲食店舗事業においてはDAM新商品に関連した減価償却費やプロモーション費用の増加等により利益率が減少した一方で、パーキング事業が伸長





01 決算概要



02 2026年3月期の見通し

03 トピックス

2026年3月期下期の状況

新商品の評判をはじめ、事業活動は順調
下期は費用のコントロールなどにより利益の向上を目指す

- **DAM新商品 LIVE DAM WAO!**
→ 市場からの評判は好評
- **ビッグエコー等カラオケ店に新商品を早期全店導入**
→ コアなカラオケファンからの機種指定など
→ 早い時間の集客が伸長 → 既存店好調
- **パーキング**の新規開設が好調
- 上期はプロモーション費用、自社店舗への導入費用等で前期比・予想比ともに若干減益
- 下期はコストコントロールや各事業における収益力向上により、上期の下振れを取り戻していく

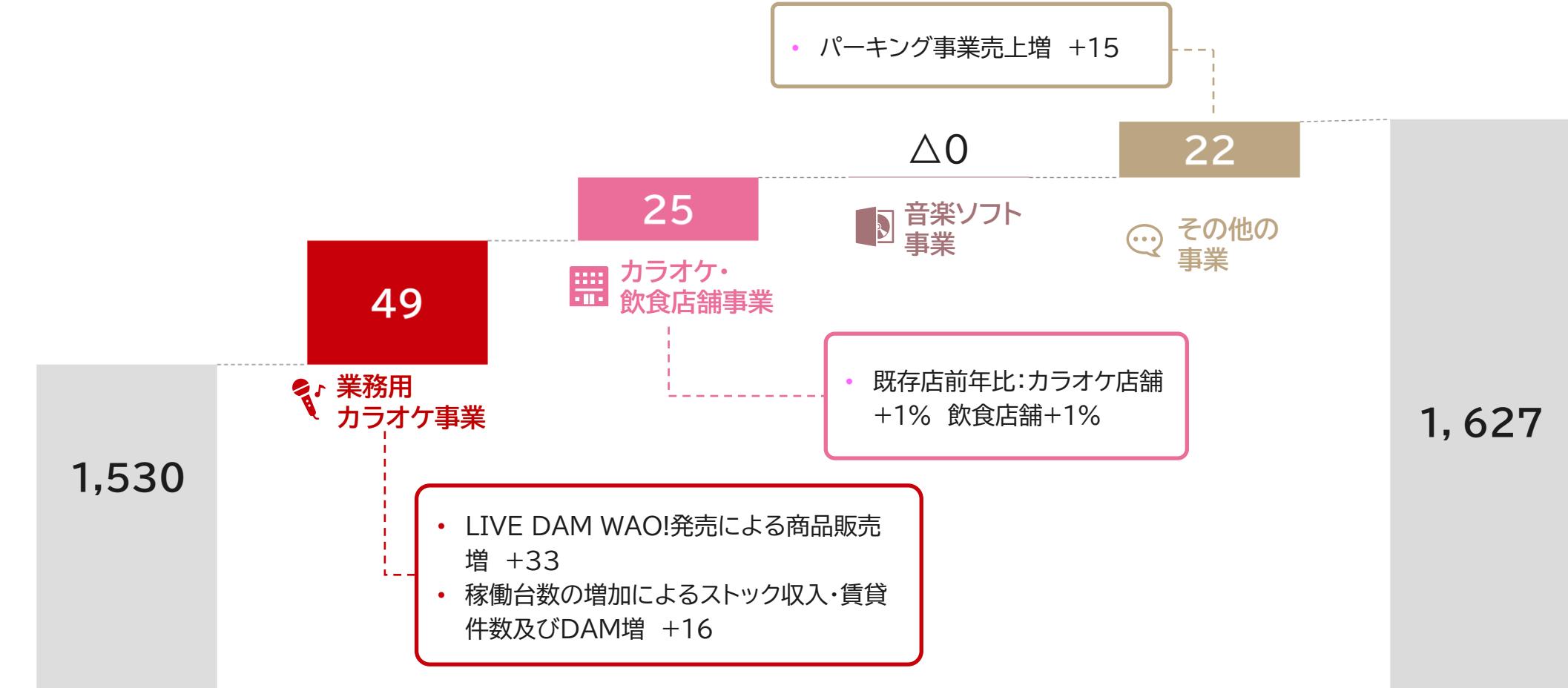
2026年3月期業績予想

新商品「LIVE DAM WAO!」発売により増収も、設備投資や
プロモーション費用等により営業利益は横ばいと予想

(単位:百万円)	2025年3月期		2026年3月期				
	中間期		中間期			通期	
	実績	実績	前年同期比	当初予想	予想比	予想	進捗率
売上高	74,321	80,276	8.0%	79,600	0.8%	162,700	49.3%
営業利益	8,996	8,430	△6.3%	8,800	△4.2%	18,000	46.8%
営業利益率(%)	12.1	10.5	—	11.1	△0.6%pt	11.1%	—
親会社株主に 帰属する当期純利益	9,598	6,117	△36.3%	6,800	△10.0%	15,400	39.7%

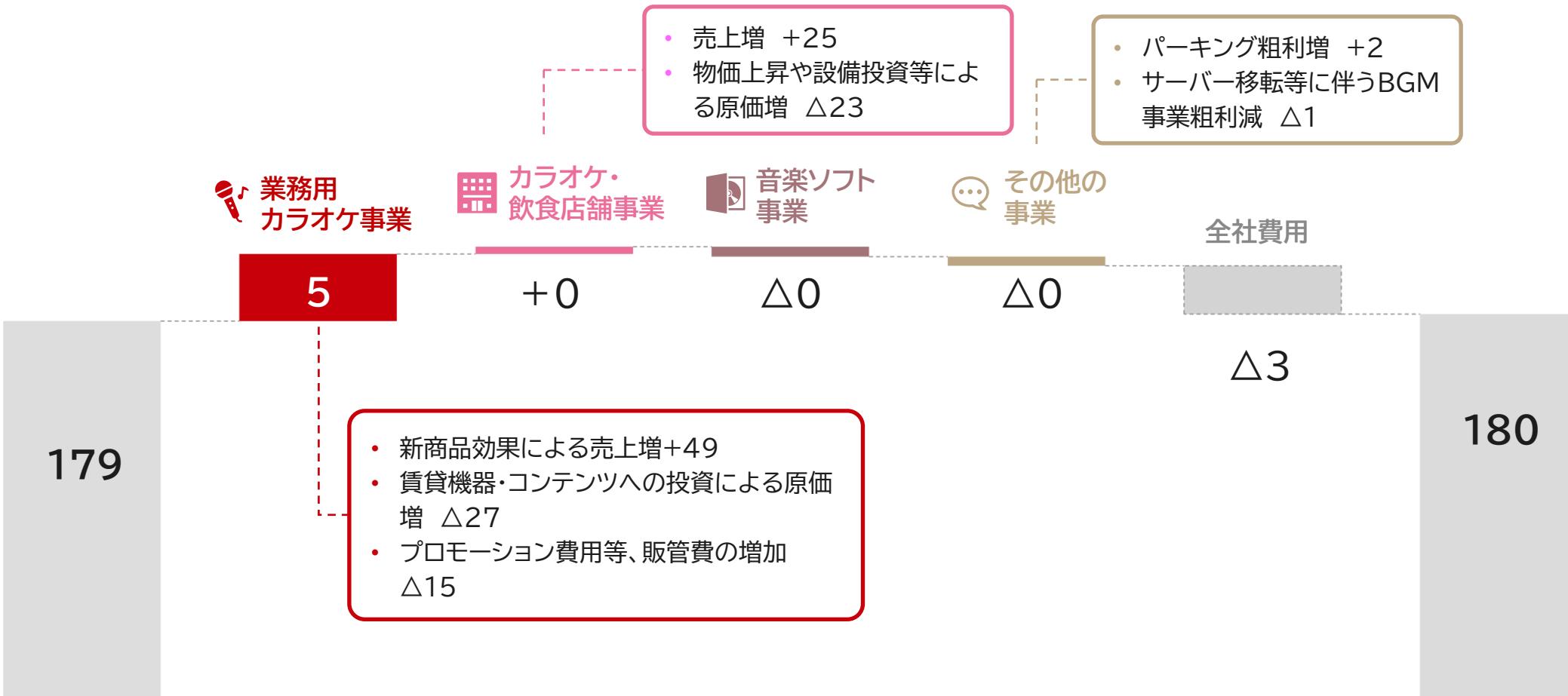
売上高増減要因分析

(億円)

2025年3月期
(実績)2026年3月期
(予想)

2026年3月期営業利益予想 増減要因分析

(億円)



2025年3月期
(実績)

2026年3月期
(予想)

(2025年7月・8月にリリース済み)業績予想及び配当予想の変更について

現本社ビルの売却が決定し、固定資産売却益40億円を当期末に計上見込みとなったことを踏まえ、業績予想を修正、当期末配当に記念配当10円を増配

移転までのタイムライン

2024年2月

本社機能移転のため固定資産を取得(港区三田3丁目)

2024年9月

これまで移転先の候補地として所有していた土地(品川区)を売却

ご参考:2024年7月29日「固定資産譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」

2026年2~3月

移転

(移転後)2026年3月末

現本社ビルを売却予定

ご参考:2025年7月28日「連結子会社における固定資産の譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」

業績予想修正の背景

現本社ビル売却
に伴う
特別利益の計上

業績予想の修正/
記念配当の実施

	親会社株主に 帰属する 当期純利益予想	1株あたりの 通期配当予想	配当性向	ROE
修正前	130億円	57円	45%	10.8%
修正後	154億円	67円 (通常配当 57円 記念配当 10円)	45%	12.8%
増減	+24億円	+10円	-	+2.0%pt

ご参考:2025年8月7日「業績予想の修正に関するお知らせ」、同「配当予想の修正(創業55周年記念配当)に関するお知らせ」

2026年3月期 セグメント別業績予想

 **業務用カラオケ事業**

- ナイト市場
- エルダー市場
- カラオケボックス市場

セグメント別売上高

67,200 百万円 $+7.9\%$

セグメント別営業利益

12,200 百万円 $+4.5\%$

 **音楽ソフト事業**

セグメント別売上高

5,500 百万円 $\triangle 1.0\%$

セグメント別営業利益

250 百万円 $\triangle 23.2\%$


 **カラオケ・飲食店舗事業**

セグメント別売上高

69,100 百万円 $+3.8\%$

セグメント別営業利益

6,400 百万円 $+0.9\%$

 **その他の事業**

- パーキング事業
- 不動産賃貸事業
- BGM放送事業など

セグメント別売上高

20,900 百万円 $+12.2\%$

セグメント別営業利益

2,300 百万円 $\triangle 3.1\%$

2026年3月期 セグメント別実施施策

業務用カラオケ事業

ナイト市場

- さらなるシェア向上を図る
- 旧機種からの入替えなどにより、1台あたりの収益向上を図る

カラオケボックス市場

- DAMの新フラッグシップ「LIVE DAM WAO!」の拡販
- 旧機種からの入替えを推進

エルダー市場

- エルダー市場専用機「FREE DAM LIFE」の拡販と新機能の訴求で、健康寿命の延伸、介護施設職員の業務負荷軽減に貢献していく

共通

- 新商品活性化・プロモーション活動により、カラオケ産業全体の活性化とカラオケ利用者のすそ野の拡大を図る

その他の市場

- スーパー・マーケットなど異業種との協業や、ボックス型カラオケ「COCOKARA」の活用により、「新たな歌う場」の創出

音楽ソフト事業

重点施策

- 新人アーティストの発掘とヒット曲の創出に努めるとともに、音楽出版事業にも注力することにより、堅実な収益モデルの構築

カラオケ・飲食店舗事業

カラオケ店舗

- 「LIVE DAM WAO!」の新機能をいち早く体験いただくため、早期に全店導入
- メーカー直営店として、設備とサービスの両面を充実させ、顧客満足度向上を図る

飲食店舗

- 顧客のニーズを捉えた新たなブランドの開発に注力
- 主力業態である個室ダイニングのほか、カラオケやダーツなどのアミューズメントを含めた幅広い客層の開拓

その他の事業

- パーキング事業
- 不動産賃貸事業
- BGM放送事業など

パーキング事業

- M&Aを含む新規施設開拓を進め、さらなる事業規模の成長
- テレビCMなどを通じた「ザ・パーク」ブランドの認知拡大
- 収益性向上のため、一部の不採算施設の整理

全社

- 2026年2月頃には本社機能の移転を予定。現在3か所に分散している本社を1か所へ集約、部門間のコミュニケーションをより活性化し、生産性の向上と新たなイノベーションの創出を図る

2026年3月期 連結経営指標計画

新商品発売効果による売上増と設備投資等による費用増により、営業利益は横ばい
新商品展開をはじめ各事業基盤の拡大を図る

会社全体で重要視する経営指標

ROE	利益成長	営業利益率向上
	EPS	149.0円
中長期目標 12.0%以上	資本最適化	自己資本比率58.3%
	2026年3月期 (予想)	2025年3月期 実績
16.2%	12.8% (△3.4pt)	

事業セグメント別の営業利益率

	2026年3月期 中間期	2026年3月期 (予想)
業務用 カラオケ事業	18.5%	18.2%
カラオケ・ 飲食店舗 事業	7.2%	9.3%
音楽ソフト 事業	4.2%	4.5%
その他 事業	13.9%	11.0%

事業セグメント別のKPI

	2026年3月期 中間期	2026年3月期 (予想)
DAM稼働 台数	22.2万台	22.5万台 (+1.5%)
機器賃貸 件数	11.7万台	11.8万台 (+0.3%)
カラオケ 店舗	505店 既存店 前年比 104%	510店 101% (+5店)
飲食 店舗	162店 既存店 前年比 101%	171店 101% (+9店) (±0pt)
パーキング 施設数	4,200施設	4,500施設 (+300施設)
パーキング 車室数	4.8万車室	5.0万車室 (+0.2万車室)

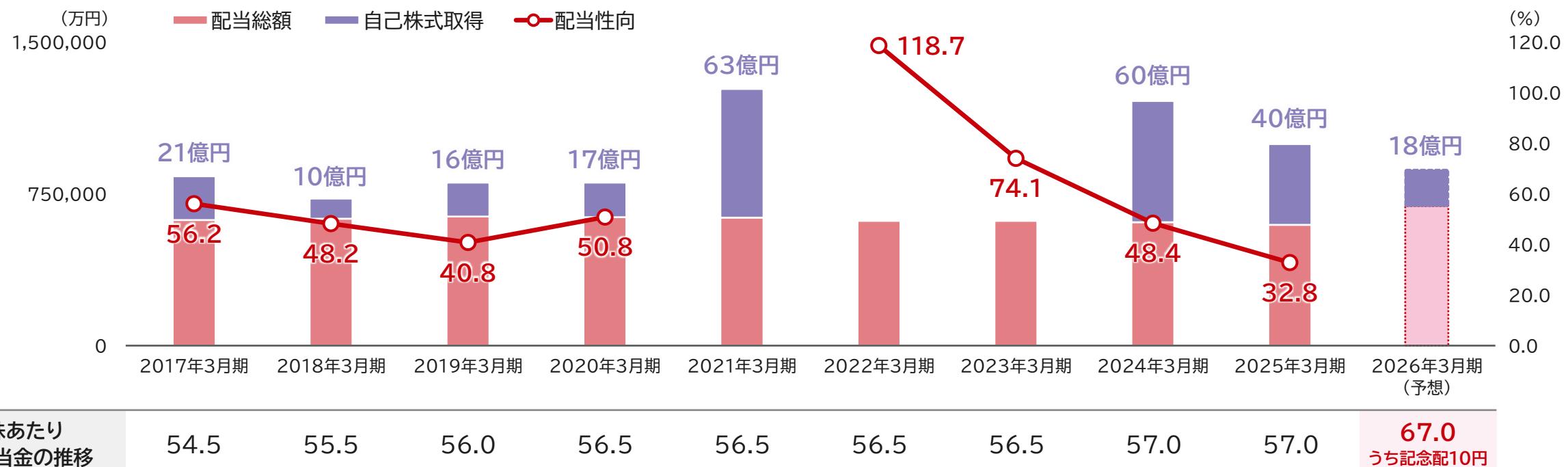
株主還元

配当方針

- 中長期的に企業価値を高めるとともに、株主の皆様に利益を還元していくことを重要な経営課題
- 連結配当性向30%以上を目安に安定的かつ積極的な利益還元を行うことを基本方針
- 併せて、資本効率向上のための自己株式取得も適時に実施

株主還元実績

- コロナ影響下も含め、上場以来「増配」あるいは「維持」を継続
- 安定的かつ高水準の配当+適時の自己株取得
- 創業55年を記念し、1株当たり10円の記念配当をえた67円の配当を実施
- 当期も5~7月にかけて18億円の自己株取得を実施済み



※配当金額は、2023.4.1付に実施した株式分割(1/2)を考慮し金額の調整を行っています。

01 決算概要

02 2026年3月期の見通し

 03 トピックス

サステナビリティマネジメント

当社グループは、「カラオケ」を通じて社会に楽しさと明るさを提供するとともに、人々の健康で豊かな生活に寄与していくことをめざします

「Fry to Fly Project」に参加

当社は、運営するカラオケ・飲食店舗で発生する使用済み食用油を国産の持続可能な航空燃料SAF(Sustainable Aviation Fuel)の原料として継続的に供給することを目的とした「Fry to Fly Project」に10/1から参加いたしました。まずは、第一興商直営のビッグエコー224店および飲食店143店において、廃食用油をSAFの原料として順次提供してまいります。

FRY to FLY Project

関連ページ

日揮HD株式会社 オフィシャルサイト内
Fry to Fly Project ページ:
<https://www.jgc.com/jp/esghsse/initiative/fry-to-fly/>



日揮ホールディングス株式会社提供

「日本健康マスター検定」への参加と うたと音楽による健康促進の取組み

2025年4月より、社会のヘルスリテラシー向上を目的に2017年にスタートした「日本健康マスター検定(健検)」にパートナー企業として参加いたしました。

また、日本医師会、厚生労働省、経済産業省監修協力の「日本健康マスター検定 公式テキスト」に、「歌うことの健康効果」が新たに掲載されました。カラオケ歌唱の健康維持への効果を広く発信し、高齢者の健康づくりを支援するとともに、当社エルダー事業のさらなる発展を目指してまいります。



IR活動

当社事業に対する関心とご理解を深めていただくため、
IRイベントへの参加やスポンサードリサーチの実施など情報開示の拡充を図っております

野村IR資産運用フェアへ出展

当社は、個人投資家様向けのIRイベント「野村IR資産運用フェア2026」に出展いたします。当社デジタルブースでは、事業の強みやビジネスモデルについてご説明いたします。この機会に、個人投資家の皆様に当社への関心とご理解を深めていただければと考えております。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



イベント名	野村IR資産運用フェア2026
開催期間	2026年1月8日(木)～1月27日(火)の20日間

参加方法

事前の来場者登録が必要となりますので、下記URLよりお申し込みください。(入場無料)
<https://fair.nomura-ir.co.jp/>

シェアードリサーチレポートの発行



<https://www.dkkaraoke.co.jp/stockinfo/sharedresearch.html>

イベント名	野村IR資産運用フェア2026
開催期間	2026年1月8日(木)～1月27日(火)の20日間

イベント名	野村IR資産運用フェア2026
開催期間	2026年1月8日(木)～1月27日(火)の20日間



 Singing 歌いながらいこう。

本説明会及び説明会資料の内容は、発表日時点で入手可能な情報や判断に基づくものです。将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。

また、本説明会及び説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績等は、さまざまな要因の変化などにより、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。